



小中一貫校南アルプス市立甲西中学校だより

克己自問

【学校教育目標】豊かな心を持つ生徒、自ら学ぶ生徒、たくましい体を持つ生徒



2026・10・2 発行

発行者：校長 内田 勝久

2学期がスタートしてはや一か月！

猛暑の8月が過ぎ、晴れ間のなかなか見えない雨続きの9月が去っていきました。

夏休み前から始まった県総体や吹奏楽コンクール、みんなの心に焼き付いた新稲祭！
気がつけば目の前には新チーム（2・1年生）初めての公式戦新人大会が迫っています。
自分の可能性を追求し、日々努力して頑張っていきましょう！

第70回新稲祭

9月18日（金）、19日（土）に「HANABI」のテーマの元、第70回新稲祭を実施いたしました。夜空に一瞬で広がり、人々の心を引き付ける花火、生徒会役員を中心に生徒たちは夏休み前から知恵を絞り、仲間と協力をしながら、一人ひとりの個性という「花火」を咲かせるべく、また、夜空を彩る大輪の花火のように、全校が一つになって素晴らしい時間を創り上げようと準備を重ねてきました。一瞬一瞬に全力を注ぐ生徒たちの情熱と、笑顔あふれるパフォーマンスはいかがだったでしょうか。前日の決起集会から気持ちを盛り上げ、1日目の生徒会による発表からの開祭宣言を受け新稲祭が始まりました。文化部門では美術部、家庭科部、吹奏楽部の文化部発表。各学年の学年合唱、合唱コンクールを中心に、ソロ・グループ発表部門も楽しみました。コンクールの成績発表ではこれまで仲間とともに創り上げてきた合唱の思い入れが各クラスとも強く、大きな歓声とともに喜びを分かち合い、悔しさを噛みしめていました。すべてのクラスにドラマがあり、いろんなことを乗り越えて頑張っている姿が分かる瞬間でした。



2日目の体育部門では、全校応援の大きな声と縦割り応援の各色ごとパフォーマンスで最初から気持ちを盛り上げ、縦割り対抗とクラス対抗での熱い戦いが繰り広げられました。白熱した戦いが繰り広げられ、特に3年生は最後の学園祭に懸ける思いが表れていました。エキシビジョンマッチの綱引きでは、保護者チーム対教員チームの対戦、瞬殺

で教員チームが負けてしまいました。(保護者の力を感じました!) 閉祭式での全校合唱生徒も教師も保護者の方々も燃えた新稲祭,ご理解とご協力をいただきありがとうございました。この新稲祭を通して,生徒たち,先生たちそして保護者の皆さんの力と情熱を感じ,さらによりよい甲西中学校を創造していける力があると確信しました。

この成果を,今後の学校生活に生かすことができるよう,今後も取り組んでまいります。



学校の様子

【県総合体育大会・関東大会】

夏休み中に県総合体育大会・関東大会が実施されました。

女子バスケ、バレー部男女、卓球部男女、ソフトテニス男子、陸上部、柔道(個人)各会場で熱い戦いを繰り広げました。どの部もいままで練習してきた思いをすべてぶつけ頑張りました。勝利を追求し乗り越えた時の喜びも、努力しても満足できない結果となった悔しい思いも、どれもかけがえのない瞬間で大切な経験になったと思います。さらに、全国大会に出場した2名、体操競技(跳馬)では2年生中込哲太君が3位入賞、陸上競技(800m)では3年古屋佑樹君が5位入賞という輝かしい成績を残しました。今まで頑張ってきた3年生、本当にお疲れさまでした。3年生から受け継いだ「甲西プライド」を胸に、1・2年生はバトンをしっかりと受け取り新人戦に向けて頑張っています。

【交通防犯弁論大会】

9月3日(火)に南アルプス警察署管内の交通・防犯弁論大会が八田カナリアホールで行われました。本校からは交通安全弁論大会に2年生の岸本美結さん、防犯弁論大会に3年生の杉山愛莉さんが参加し、岸本さんが入賞、杉山さんが優秀賞を受賞しました。

【県吹奏楽コンクール】

7月26日(日)に山梨県吹奏楽コンクールがコラニー文化ホールで行われ、「銀賞」を受賞しました。3年生から4月入部した1年生までが、気持ちを一つにし、素晴らしい演奏を披露してくれました。